

キッコーマン株式会社

2014 年度第 2 四半期決算説明会 プレゼンテーション資料

2014年11月5日(水)

- ①当資料に記載されている内容は、資料作成時点の当社の 判断に基づくものであり、記載された将来の計画数値、 施策の実現を確約したり、保証するものではありません。
- ②資料中の西暦表示は、4-3月決算期に対応します。 例)2014年=2014年4月~2015年3月



1

テーマ

► 2014年度第2四半期業績報告と 下期業績予想

常務執行役員 CFO 中野 祥三郎

> 中期経営計画の進捗と今後の展望

代表取締役社長 CEO 堀切 功章





2014年度第2四半期業績報告と 下期業績予想

常務執行役員 CFO 中野祥三郎

テーマ

- [1] 2014年度第2四半期業績
- [2] 2014年度下期業績予想



[1]-1. 第2四半期業績 連結計P/L (対前年実績)

上期実績

金額単位:億円

			増	減の内	訳		
	当年	前年	増減	%	為替差	実質	%
売上高	1,788	1,684	104	106.2	49	55	103.3
国内	849	853	Δ4	99.5		Δ4	99.5
海外	950	841	109	113.0	49	60	107.1
営業利益	123	127	Δ4	97.1	5	Δ9	92.9
国内	21	32	Δ 11	64.9		Δ 11	64.9
海外	97	89	7	108.2	5	3	102.9
キッコーマン(HD)	32	32		100.7			100.7
セグメント間消去等	Δ 27	Δ 27			1	Δ 1	
経常利益	117	113	5	104.1	5		99.8
税前利益	117	113	4	103.6	5	Δ1	99.4
当期純利益	78	72	6	108.8	3	3	104.2

US\$ 103.5 98.0 5.5 EUR 139.1 128.8 10.3



5

[1]-2. 第2四半期業績 国内売上高(対前年実績)

上期実績

金額単位:億円

		当年	前年	増減	%
	しょうゆ	223	228	△ 5	97.9
	食品	298	303	△ 5	98.4
国	飲料	225	216	9	104.2
	酒 類	59	60	Δ1	97.7
	セク・メント間	Δ1	Δ1		
内	食料品製造販売	805	807	Δ2	99.8
	その他	103	102	1	100.6
	セグメント間	△ 59	△ 56	△ 3	
	計	849	853	Δ 4	99.5

- ・消費税増税前の駆け込み需要の反動による売上減 約22億円
- ・しょうゆ 「いつでも新鮮」シリーズが好調で、予想を上回る
- ・食品 つゆは天候不順の影響もあり減収
- ・飲料 豆乳は増収、デルモンテ飲料は減収

kikkoman

6

[1]-3. 第2四半期業績 海外売上高 (対前年実績)

上期実績

金額単位:億円

	. 州天限					±	曽減の内	R
		当年	前年	増減	%	為替差	実質	%
	北米	714	631	83	113.1	37	45	107.2
	食料品製造販売	240	215	26	111.9	14	12	105.4
	食料品卸売	506	445	60	113.6	25	35	107.9
海	欧州	105	91	14	115.9	9	6	106.2
	食料品製造販売	49	43	6	114.8	4	3	106.3
	食料品卸売	64	54	10	118.6	6	4	108.0
	アジア・オセアニア	111	99	12	111.9	4	8	108.1
	食料品製造販売	54	49	6	111.9	2	3	106.8
	食料品卸売	57	51	6	111.8	1	5	109.2
外	その他	146	134	12	108.8		12	108.8
	セグメント間	Δ 126	Δ 115	Δ 12		Δ1	Δ 11	
	計	950	841	109	113.0	49	60	107.1

US\$ 103.5 98.0 5.5 EUR 139.1 128.8 10.3

<為替差除增減説明>

・しょうゆ 北米が好調

欧州、アジア・オセアニアも増収

・食料品卸売 海外各地域で成長持続



7

[1]-4. 第2四半期業績 連結営業利益(対前年実績)

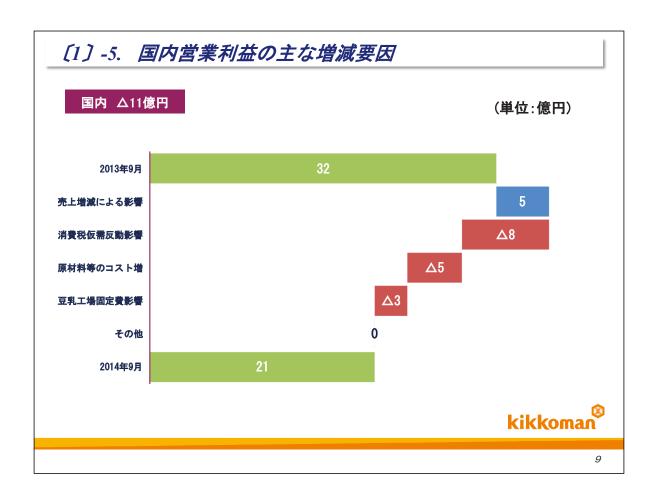
上期実績

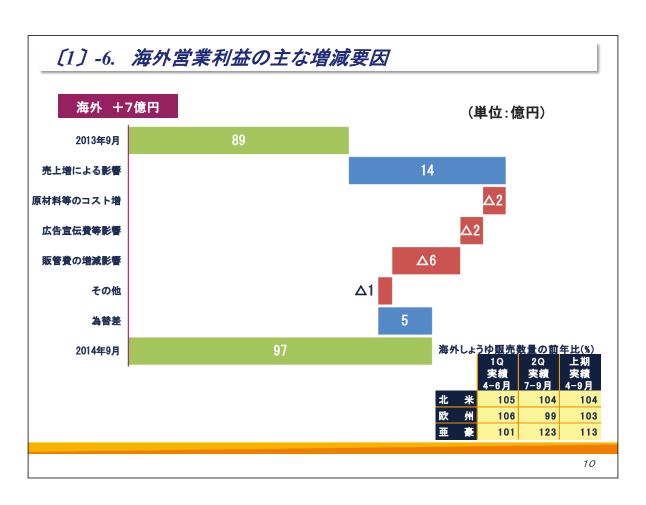
金額単位:億円

							- 74H	十一年 - 1201 1			
						増	増減の内訳				
		当年	前年	増減	%	為替差	実質	%			
噩	食料品製造販売	15	26	Δ 10	60.1		Δ 10	60.1			
内	その他	5	6	Δ1	84.7		Δ1	84.7			
	計	21	32	Δ 11	64.9		Δ 11	64.9			
	北 米	65	59	5	108.8	3	2	103.3			
海	欧州	15	14	1	109.0	1		100.1			
外	亜・豪	10	10		103.5			99.6			
	その他	7	7		105.6			105.6			
	計	97	89	7	108.2	5	3	102.9			
キッ	コーマン(HD)	32	32		100.7			100.7			
セグ	メント間消去等	Δ 27	Δ 27			1	Δ1				
	連結合計	123	127	△ 4	97.1	5	Δ 9	92.9			

US\$ 103.5 98.0 5.5 EUR 139.1 128.8 10.3







[1]-7. 第2四半期業績 連結計P/L (対上期予想)

上期実績

金額単位:億円

					増	減の内	訳
	実績	予想	増減	%	為替差	実質	%
売上高	1,788	1,791	Δ 3	99.8	23	Δ 26	98.6
国内	849	888	△ 39	95.6		△ 39	95.6
海外	950	913	37	104.0	23	14	101.5
営業利益	123	123		100.0	1	Δ 1	98.8
国内	21	23	Δ 2	91.6		Δ 2	91.6
海外	97	97		99.7	1	Δ 2	98.4
キッコーマン(HD)	32	24	9	138.1		9	138.1
セグメント間消去等	Δ 27	Δ 20	Δ7			Δ7	
経常利益	117	116	1	101.2	1		100.2
税前利益	117	116	1	100.6	1	Δ 1	99.6
当期純利益	78	72	6	108.1	1	5	107.1

US\$ 103.5 100.0 3.5 EUR 139.1 140.0 △ 0.9



[1]-8. 連結貸借対照表 增減明細

②為替による影響

実質差異(①-②)

①総資産=3,605億円 対前期末 + 114億円

+ 37億円

十 77億円 (単位:億円)

資産の部	+ 77
流動資産	+ 33
現金及び預金	Δ 2
受取手形・売掛金	+ 7
たな卸資産	+ 31
繰延税金資産	+ 1
その他	Δ 3
固定資産	+ 44
有形固定資産	+ 4
無形固定資産	△ 5
投資その他	+ 44

負價純資産合計		<u> 77</u>
負債の部	+	72
金融機関に対する有利子負債	+	75
支払手形・買掛金・未払金	+	4
未払法人税等	Δ	20
退職給付に係る負債	Δ	2
繰延税金負債	+	13
そ の 他	+	2
純資産の部	+	5
<u>純資産の部</u> 利益剰余金	+	<u>5</u>
1000		
利益剰余金	+	44
利益剩余金 有価証券評価差額金	++	44 26
利益剰余金 有価証券評価差額金 為替換算調整勘定	+++++	44 26 26

kikkoman

[2]-1. 連結業績予想 予想の前提条件

▶為替

下期 US\$ 105.0円 EUR 135.0円 通期 US\$ 104.2円 EUR 137.2円

▶原材料等コストアップ

連結計

下期 1億円(国内 1億円、海外 0億円) 通期 8億円(国内 6億円、海外 2億円)

(下期前提)

大豆(市場価格) 9-11ドル/ブッシェル 小麦(市場価格) 5-7ドル/ブッシェル 原油(市場価格) 80-90ドル/バレル



1.3

[2]-2. 下期業績予想 連結計P/L(対前年実績)

下期予想

金額単位:億円

	下期	前年			増減の内訳		訳
	予想	実績	増減	%	為替差	実質	%
売上高	1,842	1,748	94	105.4	23	71	104.1
国内	857	854	3	100.4		3	100.4
海外	993	904	89	109.9	23	66	107.4
営業利益	124	112	12	110.9	2	10	109.1
国内	22	21	1	104.5		1	104.5
海外	98	86	12	114.4	2	10	112.2
キッコーマン(HD)	17	19	Δ 2	91.1		Δ 2	91.1
セグメント間消去等	Δ 13	Δ 14	1				
経常利益	118	114	4	103.2	2	2	101.7
税前利益	118	110	8	107.4	2	6	105.9
当期純利益	67	54	13	124.3	1	12	122.1

US\$ 105.0 102.4 2.7 EUR 135.0 140.1 \triangle 5.1



[2]-3. 下期業績予想 国内売上高(対前年実績)

下期予想

金額単位:億円

VJ J (下期 予想	前年 実績	増減	%
			J^ /K5	天限	-百 //火	70
		しょうゆ	247	253	Δ 6	97.5
		食 品	293	291	2	100.6
玉		飲料	196	194	2	101.1
		酒 類	76	74	2	102.8
		セグメント間		Δ 1		
内	食	科品製造販売	811	811		100.0
	その他		102	100	2	101.7
	セク	メント間	△ 56	△ 58	1	
		計	857	854	3	100.4

- 消費税増税前の駆け込み需要の影響による売上減 約22億円



15

[2]-4. 下期業績予想 海外売上高(対前年実績)

下期予想

金額単位:億円

		下期	前年			増減の内訳		
		予想	実績	増減	%	為替差	実質	%
	北 米	738	684	54	108.0	21	34	104.9
	食料品製造販売	237	222	14	106.5	7	7	103.2
	食料品卸売	533	490	42	108.7	14	28	105.7
海	欧州	112	104	8	107.9	Δ1	10	109.3
	食料品製造販売	53	50	3	106.5	Δ1	4	109.0
	食料品卸売	67	61	5	109.0		6	109.7
	アジア・オセアニア	139	104	34	132.9	4	30	129.0
	食料品製造販売	76	51	25	148.0	3	22	142.8
	食料品卸売	64	54	9	117.5	1	8	114.8
外	その他	135	127	8	106.0		8	106.0
	セク・メント間	Δ 131	△ 115	Δ 15		Δ1	△ 15	
	計	993	904	89	109.9	23	66	107.4

US\$ 105.0 102.4 2.7 EUR 135.0 140.1 △ 5.1

<為替差除増減説明>

- 上海のしょうゆ販売会社と台湾のしょうゆ製造会社の連結影響 20億円



[2]-5. 下期業績予想 連結営業利益(対前年実績)

下期予想

金額単位:億円

		当年	前年			垍	減の内	R
		予想	実績	増減	%	為替差	実質	%
豆	食料品製造販売	16	18	Δ1	91.6		Δ1	91.6
内	その他	6	3	3	185.9		3	185.9
	計	22	21	1	104.5		1	104.5
	北 米	63	56	7	112.8	2	5	109.7
海	欧州	17	15	2	114.0		2	116.4
外	亜・豪	12	9	3	131.4		2	126.4
	その他	6	6		105.5			105.5
	計	98	86	12	114.4	2	10	112.2
キッ	コーマン(HD)	17	19	Δ 2	91.1		Δ 2	91.1
セグ	メント間消去等	Δ 13	Δ 14	1				
	連結合計	124	112	12	110.9	2	10	109.1

US\$ 105.0 102.4 2.7 EUR 135.0 140.1 △ 5.1



17

[2]-6. 通期業績予想 連結計P/L (対年初公表)

通期予想

金額単位:億円

	当年	年初			増減の内訳		訳
	予想	公表	増減	%	為替差	実質	%
売上高	3,630	3,610	20	100.6	53	Δ 33	99.1
国内	1,706	1,753	△ 47	97.3		Δ 47	97.3
海外	1,943	1,877	66	103.5	53	13	100.7
営業利益	247	247		100.0	4	Δ 4	98.2
国内	43	51	Δ9	83.3		Δ9	83.3
海外	195	190	6	102.9	4	1	100.7
キッコーマン(HD)	50	40	10	125.3		10	125.3
セグメント間消去等	Δ 40	Δ 33	Δ7			Δ7	
経常利益	235	235		100.0	4	Δ 4	98.4
税前利益	235	235		100.0	4	Δ 4	98.4
当期純利益	145	145		100.0	2	Δ 2	98.3

US\$ 104.2 100.0 4.2 EUR 137.2 140.0 △ 2.8

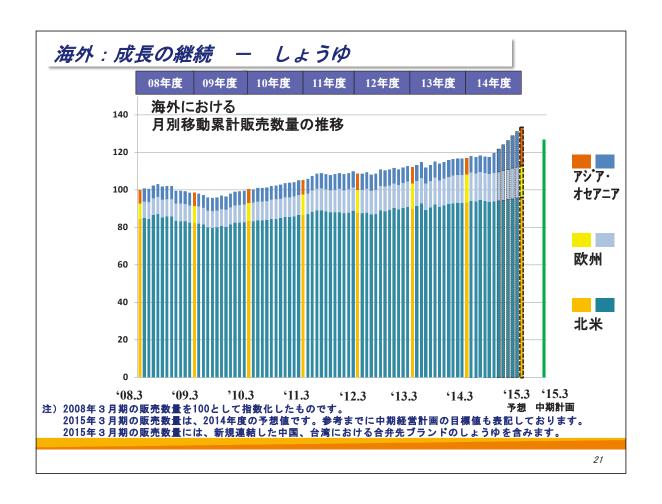


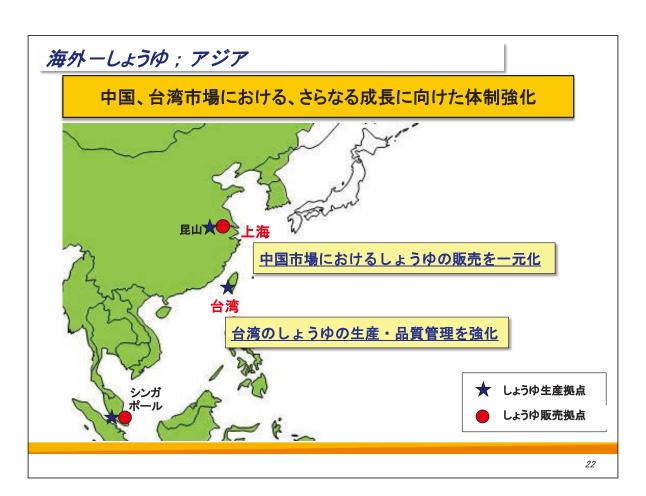


中期経営計画の進捗と今後の展望

代表取締役社長CEO 堀切功章



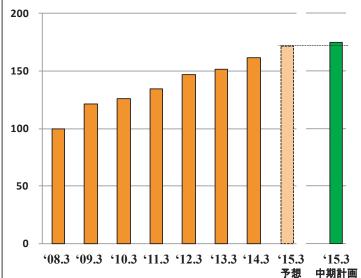




海外:成長の継続 - 東洋食品卸事業



東洋食品卸事業の連結売上高の推移



北米:既存市場の深耕 扱い商品の幅を広げ、 各地の拠点を活用し、 一般のスーパーやレストラ ンでの売上を拡大

欧州、アジア・オセアニア:

新規市場の開拓

新規拠点の開設を進め、 高成長を維持

注) 2008年3月期の売上高を100として指数化したものです。 為替差を除いた現地通貨ベースでの実質的な推移を示しています。 2015年3月期の売上高は、2014年度業績予想の数値です。 参考までに中期経営計画の目標値も表記しております。

kikkoman

23

国内:収益力の向上 - 高収益事業・商品へのシフト

しょうゆ

「いつでも新鮮」シリーズの売上が好調。 年間目標を55億円から65億円に上方修正。

「いつでも新鮮」シリーズの売上高と 当社しょうゆ部門全体における構成比の推移



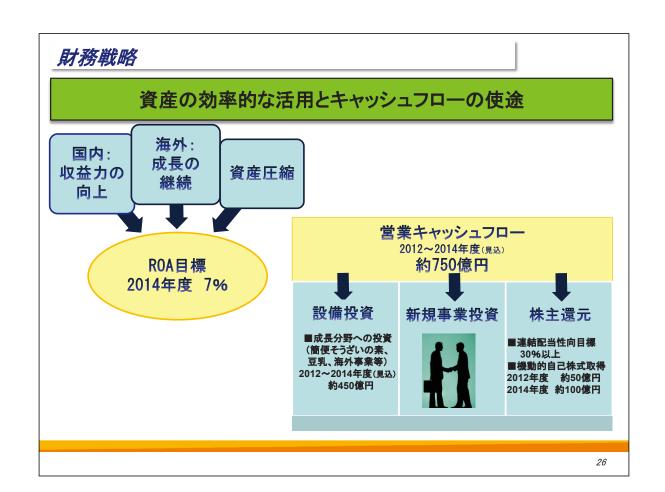
豆乳

引き続き、年間予想(280億円)の達成を 目指す。

豆乳の年間売上高の推移



注) 2013年度実績と2014年度予想は、2013年8月に連結対象 となったキッコーマンデイリー㈱の影響を含みます。



次期中期経営計画に向けて

グローバルビジョン2020の目指す姿

キッコーマンしょうゆをグローバル・スタンダードの調味料にする

食を通じた健康的な生活の実現を支援する企業となる

地球社会にとって存在意義のある企業となる

2015年度~2017年度中期経営計画の方向性

海外の成長の継続

成長率 営業利益率

経営の効率化

ROE

国内の収益力の向上

営業利益率 成長率

株主還元の重視

連結配当性向 自己株式取得

kikkoman

27



おいしい記憶をつくりたい。

kikkoman